

春播きトウモロコシ有望品種「34N84」、「タカネスター」および「SH4681」

「34N84」、「タカネスター」および「SH4681」は、「セシリア」並みの多収性および耐病性を有し、熊本県における早生の春播きトウモロコシ品種として有望である。

農業研究センター畜産研究所飼料研究室（担当者：原野幸子）

研究のねらい

飼料自給率の向上を図るには、生産費の多くを占める飼料費のコスト低減を図ることが重要であり、単位当たり収量の向上については自給飼料の生産拡大に資する地域に適した飼料作物品種の選定が不可欠である。本試験では、本県に適した飼料作物の品種選定の資料とするとともに、新たに育成された優良品種の早急な普及を図るため、数年以内に市販開始予定の新品種を中心に品種比較試験を行い、収量性やその他の諸特性について把握し、優良品種を選定する。

研究の成果

1. 「34N84」、「タカネスター」および「SH4681」は、「セシリア」と同等の乾物収量が期待でき、早生の春播きトウモロコシ品種として有望である（図 1）。
2. 早生品種「34N84」、「タカネスター」および「SH4681」の播種から収量調査期までの日数は、「セシリア」より早いか同時期で、本県において 4 月初旬に播種した場合、「セシリア」と同時期の 7 月下旬から 8 月初旬に収穫できる（表 1）。
3. 「34N84」、「タカネスター」および「SH4681」のごま葉枯病の発生程度は、「セシリア」と同程度である（表 2）。
4. 「34N84」、「タカネスター」および「SH4681」の紋枯病の罹病率は、「セシリア」と同程度である（表 2）。

普及上の留意点

1. 耐倒伏性については、3 年の試験期間中に倒伏の発生が見られなかったため、明らかではない。
2. 紋枯病が頻発するほ場においては、連作を避けること。

表1 生育特性に関する調査結果

品種名	相対 熟度	初期生育	稈長	着雌穂高	着雌穂高 ／稈長	播種から収量調 査期までの日数
		極不良1～極良9	cm	cm	%	日
34N84	108	6.1	259.4	120.2 B	46.3 B	113.7
タカネスター	113	7.1	275.2	135.6	49.4	115.3
SH4681	115	6.3	285.2	128.2	44.9 B	116.0
セシリア	115	5.9	267.3	144.1 A	53.8 A	117.0
標準誤差		0.8	6.4	5.2	1.4	2.8

- 1) 播種期は、2008年4月2日、2009年4月3日および2010年4月5日。
- 2) 施肥量は、N: 1.5kg/a、P₂O₅: 1.5kg/a、K₂O: 1.5kg/a。
- 3) 標準品種は、「セシリア」。
- 4) アルファベット間は、品種間において5%水準の有意差が認められたことを示す。
- 5) 収量調査は、黄熟期を目安に実施した。

表2 病害抵抗性に関する調査結果

品種名	倒伏	折損	虫害	ごま葉 枯病	紋枯病 罹病率	紋枯病斑 高／稈長
	%	%	%	無1～甚9	%	%
34N84	0.0	0.0	0.4	2.0	77.8	28.9
タカネスター	0.0	0.0	0.3	2.3	76.2	26.5
SH4681	0.0	0.0	0.7	2.7	73.6	23.0
セシリア	0.0	0.0	0.7	2.8	73.7	23.8
標準誤差	0.0	0.0	0.4	1.5	18.3	2.6

- 1) 試験ほ場は、連作により紋枯病が激発している。
- 2) いずれも「セシリア」との間に有意差は認められない。

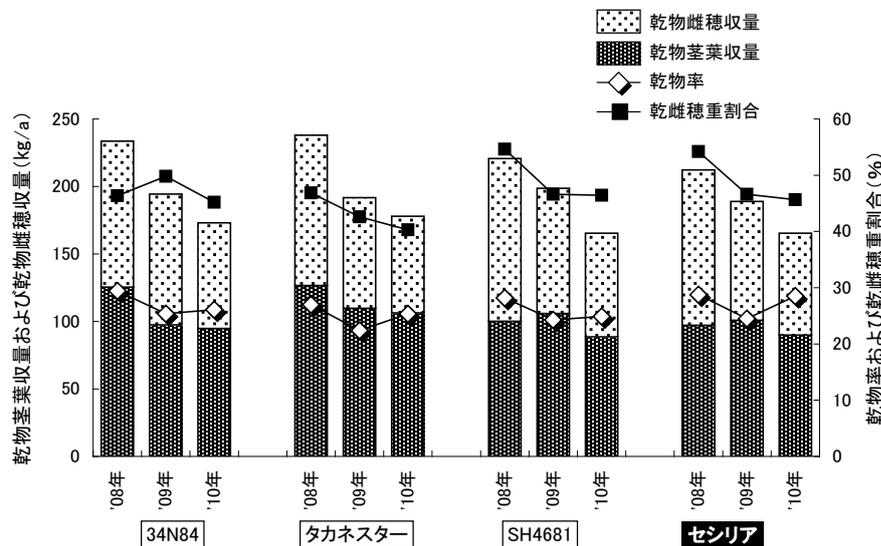


図1 品種ごとの3か年の乾物茎葉収量、乾物雌穂収量、乾物率および乾雌穂重割合

※乾物茎葉収量および乾物雌穂収量は、いずれの品種も3か年をとって「セシリア」との間に有意差はない。